

強化堤防の裏法（陸側斜面）を下流側から見る。さらに背面を厚くして植樹予定。2017年7月26日



ライニングのグループは、現在 1600m 地点を工事中。正面が 3.1 km地点。さらに人員を増して一日 30m にペースを上げている。秋までには 3.1 km地点（写真真正面）につく。2017 年 7 月 22 日



調節池Ⅱ下流側の橋4は橋脚を完成し、いつでも水が通過できる。2017年7月22日



用水路下段壁は、7月26日現在、1450mを工事中。



調節池Ⅱの上流側の橋3の基礎工事。2017年7月22日



1000m 地点のカチャラ II 分水路始点の工事。コンクリート工事を終え、分水路造成（約 450m）が始まる。2017 年 7 月 22 日



主幹水路の終点（約 4.9 km地点）。ここからベラ村の用水路始点が 500m、造作なく灌水できる。しめきり堤はふた夏を越えつつあり、水制間に土砂が堆

積、よく根固め工の役目を果たしている。2017 年 7 月 22 日



用水路 3.1 km地点の全景。籠、練石積み、砂利の山と様々な工夫が凝らされたが、ことごとく洪水に突破されている。今回の 1500m 地点の強化堤防を最も

喜んだのが、このコーティ村だ。この地点は主幹水路がサイフォンを潜って到着する場所で、調節池Ⅲがおかれる重要地点だ。ここまで届けて置けば、万

一の場合でも村民は自分でやる。2017年7月26日



7月23日に七里所長以下、FAO（国連食糧農業機関）の一行が突然カブールから来訪し、皆を励まして行かれました。建築中のミラーン堰の訓練所も視

察、「カブールのFAO事務所よりも頑丈だ」と、喜んで帰られました。今後の「カリキュラム」の進め方も、所長とは了解を得ていました。



カチャラ村まで来た者は、カブール市民でも FAO 一行以外に居ない。こちらも工事の証言者として歓迎。お疲れさまでした。2017年7月24日



ガンベリ主幹排水路、1100m 地点。上流 1 kmは完工、残すは下流約 700m の籠積みだけとなった。2017 年 7 月 24 日



下流側は排水路の深さがそれほどないので、一段または二段の籠積みで済む。石材は現在、カチャラ村の採石場から輸送。美しくて硬いので、籠詰め

材としては一級品。2017年7月24日



石工・大工のモハマッド=カーヘル、PMSの15年選手。もっぱら湿地帯処理を2010年から続け、30か所に及ぶ橋梁を手掛けた。陰の立役者だ。このような人材がいないと、技師たちは動きがつかない。留守の間も、ほとんど一人で工事を取り仕切った。2017年7月24日。

